

**【研究課題】**

大腸癌手術における体腔内吻合の妥当性の検討

**【研究対象】**

2024年1月から2025年12月までに当院で大腸癌手術を受けられた方

**【研究目的・方法】**

近年、腹腔鏡下の低侵襲大腸癌手術の普及に伴い、腸管切除後の腸と腸の再建方法として、おなかの中で行う吻合が広く用いられるようになってきています(体腔内吻合)。体腔内吻合は、腸管牽引の軽減、小切開創の縮小、創部感染や術後疼痛の軽減といった利点が報告されており、多施設共同の後方視的研究では体腔内吻合の有用性が示唆されています。当院でも症例に応じてこの再建方法を導入しております。その妥当性に関しての検討を調べるのが目的です。

**【研究期間】**

2027年3月31日まで

**【研究に用いる試料・情報の種類】**

電子カルテのから情報を得ます。性別、年齢、入院日、手術日、退院日、既往歴、血液検査結果、腫瘍学的な情報、手術術式、術後合併症の発生状況、再発日など

(※匿名化された情報であり、個人が同定されるようなIDや氏名、生年月日、連絡先などは含まれません。)

**【お問い合わせに関して】**

本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報および知的財産の保護の支障がない範囲で、研究計画書および研究関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理の方にご了承を頂けない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんの不利益が生じることはございません。

**【連絡先】**

研究責任者 奥村公一

〒526-8580 滋賀県長浜市大戌亥町 313 番地

市立長浜病院 外科

TEL 0749-68-2300 FAX 0749-65-1259